

第4回 NPO法人 おひさまと風の子サロン 理事他役員 11名参加

平成29年9月28日 11:00~11:55 於:地域子育て支援拠点施設「すくすくひろば」

主な話し合いの内容 (★=団体、◎=市長)

(団体より、パワーポイント資料を用いて活動内容説明)

★平成19年9月に設立。子育て中の保護者と子どもを対象に、子育てを支援する事業や子どもの成長発達を支援する事業を行うことにより、「親育ち・子育て」を援助し、子育てしやすいまちづくりに寄与することを目的としている。

★現在、福知山市の地域子育て支援ひろば事業、市民協働の子育て応援事業「おひさまひろば」を受託中である。子育て中の保護者の方一人ひとりに寄り添いながら楽しく子育てできる環境づくりを目指している。

★平成28年10月に中ノ町から、現在の市の地域子育て支援施設「すくすくひろば」に移転して事業実施している。開設は週5日10時から15時、月・火・水・金と土曜日である。子育てコンシェルジュが常駐し、お母さんたちからいろんな相談なども受けている。広報としては、情報誌を年3回発行するとともに、半月のイベントカレンダー、LINE、Facebookで情報発信している。

★移転以来約1年での利用者数は1万人を超え、これは、中ノ町実施時代の約5倍の利用者数となっている。駐車スペースもあるこの子育て支援拠点施設を市として設置いただき、事業受託できたことをありがたいと思っている。

★このたびのまちづくりミーティングにあたり、8月22日から9月6日まで利用者アンケートを実施し、108人の有効回答を得た。このアンケート結果から見えてきた成果と課題について報告・交流したい。

★男女比は4:96と圧倒的に女性が多いが、土曜日を中心に男性の利用も増加しつつある。

★利用者の中心年代は30代で、子どもは1人目での0から1歳児を連れた方が多い。初めての育児で不安が多く、誰かと思いを共有したい、社会とのつながりを持ちたいと思われる方が多い。

★来所のきっかけは、行政や行政の広報媒体から情報を得た方、SNSや知人等からの紹介で知った方が約半数である。行政関係で知った方は市外からの転入者が多い。

★利用者のイベント情報を知る方法は、Facebook、またLINEが多く、家にいながらも、育児をしながらでも情報を求めている方が多いと感じている。

★利用者満足度は概ね満足していただいているが、舞鶴市の「あそびあむ」がすごくよいので遊具等の充実があれば嬉しいという意見もあった。

★これら、アンケート内容や、利用者増の現状を踏まえ、NPOとしては、床にマットを敷くなど安全対策強化、スタッフの増員と専門知識の習得、情報発信の強化をしていかねばならないと考えている。法人財源も厳しい中なので、市として御協力いただけることや、アドバイスなどもいただけたらと思っている。

◎みなさんの現状と課題はよく解った。もう少し他に意見があればあわせて聞かせて欲しい。

★福知山市は待機児童が0ではあるが、職場などに近い保育園に入れにくいという声もよく聞く。

また、保育園や幼稚園に入れなかった子どもの行き場所として本施設が受け皿になっている部分もある。市ホームページなどで市長の意見を拝見すると子育ての場をすごく考えていらっしゃるようであるが、そのお考えについて聞きたい。

◎子育て支援施設としては、このすくすくひろばと他に保育園にもお願いしているところがある。

◎希望する保育園、幼稚園に入れないという意見も聞いている。保育園は福祉、幼稚園は教育委員会と部署も異なっているが、子育てに関することを現在複数の部署で取り扱っている。妊娠をされて以降、中学生、高校生になるまで子どもを育てていくにあたって、窓口が一つになって支援の説明や御案内も出来るという形をとっていくことが本来であろうと考え、その体制の整備を現在検討中である。市民の人にとって使いやすいのは何かという論理から行政の組織はあるべきだと思っている。

**★施設借りることひとつでもたらいまわしにされることもあったので、窓口一本化はありがたい。一本化の機能を発揮するには、市職員一人ひとりの意識改革も必要だと思うので、頑張ってください。**

◎基礎自治体は、市民に対して、子育て、教育、医療、介護という基本的な行政サービスを提供するのがまず本来使命だと思っている。福知山市の財政は経常収支比率が合併特例部分を除くと100%以上で、歳出が超過している状態になっており非常に厳しい状況である。自治体の本来使命を果たすためにも、効率化できる部分はしていかなばならないと考えている。

**★ミニSLフェスタの復活は歓迎している。ポップランドが閉館になると言う話も聞き心配している。移転してでも存続して欲しい。**

◎ポップランドの建物は、市もお借りしているものであるが、耐震化ができていないという点は確かである。しかし閉館を決定したわけではない。

**★ミニSLフェスタもスイーツフェスティバルも子どもたちに向けた企画も多く、子育て世代としては非常にありがたく思っている。市内に新築一戸立ても増加し、子育て世代の定住率も増化しているように感じるので今後とも子育て世代に目を向けた事業をお願いしたい。**

◎定住率という指標はとっていないが、人口はここ10年で4千人以上減少しており、人口構造も65歳以上の方が2万3千人に対し、14歳未満が1万人少しとなっている。移住定住の促進に努めることは大切だが、将来の子どもたちのためにも、人口減少するなかでも持続可能な都市基盤づくりを考えなければならないと思っている。

**★子どもたちの将来を考える視点は大事である。私たちが受託している事業も以前は行政直営で行っていたものを民間活力利用で委託していただいたものである。行政直営でないと出来ない部分、行政では制約があり、民間の力でないと出来ない部分があると思うので、市、団体とも厳しい財政状況の中ではあるが、知恵も出し合い子どもたちの為に今後も連携していきたく願っている。**

◎本当にそのとおりである。  
今後ともよろしく願います。

